

# 東北経済産業局における2020年度の 知的資産経営・ローカルベンチマークに係る取組

2021年5月27日（木）

東北経済産業局

地域経済部 産業技術革新課

東北経済産業局  
ホームページ



東北経済産業局  
Instagram



# これまでの経緯

- 東北経済産業局では、「東北地方産業競争力協議会」の提言（2014年4月）を受け、企業支援のコーディネーターやアドバイザーの「ネットワーク化」、「広域的活用を進めるための仕掛け作り」を目的に、「東北支援人材サミット」を開催（2016年度まで）。
- 2015年度のサミットにおいて「問題を抱えたまま、誰にも相談できずにいる企業群が存在。支援を必要としている企業をスタートラインに立たせることの重要性。」が指摘され、これを受け、2016年、「支援を必要とする企業をどのように発掘すればよいのか」をテーマにした調査事業（ステップゼロからの支援プロジェクト）を実施。この事業において、支援を受ける前の（ステップゼロ）企業から経営課題を引き出すツールとして、ローカルベンチマークを活用。
- 2017年以降は、「中小企業・小規模事業者人材確保・支援事業」において、専門家によるハンズオン支援の際に、「知的資産経営やロカベンを使った経営ビジョンの明確化」を行っている。
- 2018年5月、中小企業診断士の及川 朗 氏を発起人とし、有志による「知的資産経営研究会in東北」が発足。仙台支部では、毎月1回、勉強会（例会）を開催。
- 2019年度は、「知的資産経営等普及事業（東北地域におけるローカルベンチマーク活用促進に向けた現状・課題の調査）」を実施。
- 2020年度は、前年度の課題を踏まえローカルベンチマークの更なる普及を図るためのコンテンツ（PR動画、紹介チラシ）を作成。
- 広報・普及イベントとして、東北財務局と連携し、支援機関向けセミナー（知的資産経営week）を開催（2018～2020年）。

## 「東北地域におけるローカルベンチマーク活用促進に向けた現状・課題の調査」

- 一関商工会議所の全面協力のもと企業に専門家を派遣するモデル事業と、管内のロカベン活用事例の調査・分析を実施、今後の課題を抽出した。

### ■ モデル事業

一関商工会議所をモデル機関とし、一関市内の3社に対してロカベンを活用した対話を実践し、経営課題や今後の取組内容に関する見える化の支援を行った。

### ■ 活用事例の調査・分析

中小企業における事例12件、支援機関における事例20件を収集し、東北地域における知的資産経営、及びロカベン活用の現状を分析した。



### ■ 得られた成果と今後の課題について

#### 得られた成果

企業：保有している知的資産を再認識し、強化・活用していく取り組みであり、経営改善手法として最適

金融機関  
支援機関：顧客理解のための強力な対話ツール



**経営者の気付きを促し、次の一步を支援する**

#### 今後の課題

金融機関・支援機関での活用が進んでおらず、企業もロカベンを認識・活用していない。



**企業経営者への認知度・活用機会の向上が必要**

# 2019年度 知的資産経営等普及事業（モデル事業）

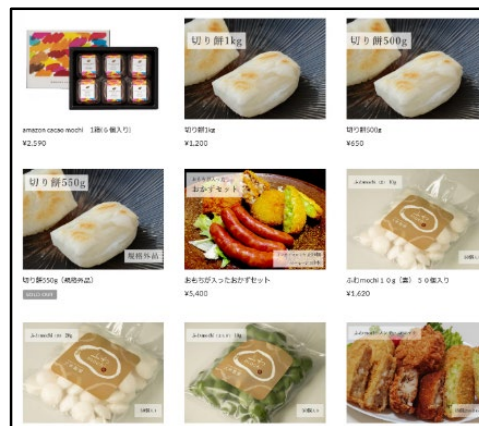
## 2020年度成果報告セミナーより

- 当社は、餅食文化のまちであり、餅の聖地でもある一関・平泉に店舗を構える創業90余年の「お餅屋さん」。
- ロカベンを活用し自社分析を行ったところ、自社の課題が見えました。「全く営業活動をしていなかった」という、こんな根本的なことさえ気づいてなかったことに、大変驚きました。
- これを契機に、営業活動を展開し、商品のブランディングにも努めた結果、JALのファーストクラスの機内食に採用されました。



大林製菓(株)  
代表取締役 大林 学 氏

- 企業名： 大林製菓株式会社
- 所在地： 岩手県一関市山目町7-12
- 資本金： 500万円 ・従業員数： 14名
- 創業： 1926年
- 事業内容： 餅や団子など、主に米を加工した商品を製造し、地元スーパーや産直、飲食店等へ販売している。近年では、市内研究機関である岩手県南技術研究センターと共同で、新しい餅商品の研究・開発を行うほか、OEMによる商品開発・販売にも取り組んでいる。



■ 自社分析を受け、ECサイトを構築



■ R3年4月からJAL国内線ファーストクラスの機内食として提供されている「amazon cacao mochi」

## 「ローカルベンチマーク活用促進に向けたコンテンツ作成」

- 2020年度は、前年度の課題を踏まえロカベン/ロカベンの更なる普及を図るためのコンテンツ（PR動画、紹介チラシ）を作成した他、成果報告セミナーを開催した。

### ①PR動画の作成

### ②紹介チラシの作成

### ③成果報告セミナーの開催

認知度向上のため、知的資産経営の概念やロカベンの理解の一助となるコンテンツ（PR動画・紹介チラシ）を作成し、知的資産経営のPRを行った。

【PR動画】



【紹介チラシ】

知的資産経営WEEKの一環として、ロカベン/知的資産経営をテーマに、中小企業の経営力強化、地域支援機関の体制の構築・強化することを目的として成果報告セミナー（オンライン）を開催。



# 2020年度 知的資産経営等普及事業

## ①「知的資産経営及びロカベン」のプロモーション映像作成」

### ■ PR動画

長編（10分版）と短編（1分版）と2種類作成。

### 【コンテンツ内容】

#### ① 知的資産の紹介



#### ② ロカベンの紹介



#### ③ ロカベンの取組み方



#### ④ 経営者の声

①

会社の資産を氷山に例えると…


目に見える資産は氷山の一角!

目に見える資産

- 機械
- 土地
- 株式
- 建物
- 商品
- 設備

目に見えない資産  
＝  
知的資産

- ノウハウ
- 人材
- 知的財産 (特許など)
- 技術
- ブランド
- 人脈
- ネットワーク
- 組織力
- 顧客



②

知的資産経営を実践する「入ロ」  
ローカルベンチマーク  
通称：ロカベン

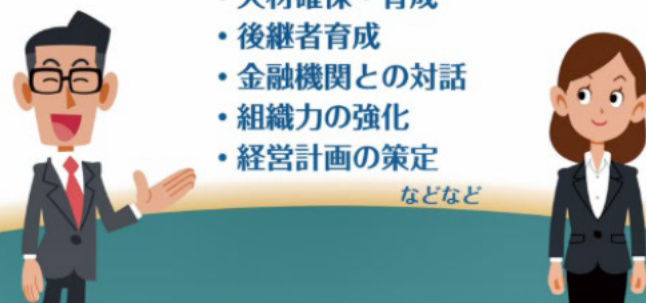


③

これからの展開

- ・会社のPR
- ・人材確保・育成
- ・後継者育成
- ・金融機関との対話
- ・組織力の強化
- ・経営計画の策定

などなど



④

ロカベン活用事例

お餅の製造・販売



大林製菓株式会社  
代表取締役 大林 学さん  
(岩手県一関市)



### ■ HP掲載

東北経済産業局、及び中小企業向け補助金・総合支援サイト「ミラサポPlus」にて公開中

東北局HP：[https://www.tohoku.meti.go.jp/s\\_intellectual\\_assets/index\\_intellectual\\_assets.html](https://www.tohoku.meti.go.jp/s_intellectual_assets/index_intellectual_assets.html)

ミラサポPlus HP：<https://mirasapo-plus.go.jp/hint/15482/>

# 2020年度 知的資産経営等普及事業

## ②「知的資産経営及びロカベンのチラシの作成」

### ■ 紹介チラシ

企業と支援機関のそれぞれの立場に向けて、知的資産経営の概念やローカルベンチマークの使い方や活用メリットなどを紹介する2種類のチラシを作成。

#### 企業向け

・自社の強みを見える化し業績向上につなげるツールであることをPR



#### 支援機関向け

・企業との対話、強みの整理などのツールとなることをPR



### ■ HP掲載

東北経済産業局、及び中小企業向け補助金・総合支援サイト「ミラサポPlus」にて公開中

東北局HP：[https://www.tohoku.meti.go.jp/s\\_intellectual\\_assets/index\\_intellectual\\_assets.html](https://www.tohoku.meti.go.jp/s_intellectual_assets/index_intellectual_assets.html)

ミラサポPlus HP：<https://mirasapo-plus.go.jp/hint/15482/>

# 2020年度 知的資産経営等普及事業

## ③「成果報告セミナーの開催」

知的資産経営WEEK  
2020 IN 東北

経済産業省では、知的資産経営に関する各種団体と協力し、毎年「知的資産経営WEEK」を設定し、知的資産経営に関する取組の周知、普及、発展を図っています。

**中小企業と地域支援機関の「共通価値の創造」に向けて**

参加費無料  
定員 100名

開催日時：2021年2月10日(水) 14:00～16:00

本セミナーは、知的資産経営の強力なツールの1つとなるローカルベンチマークの普及を目的としています。日本金融人材育成協会会長 森俊彦氏による基調講演や、実際にローカルベンチマークを活用し、地域企業の支援に取り組んだ一関商工会議所と大林製菓株式会社の活動事例をご紹介します。企業経営者、支援機関、金融機関、専門家といった様々なお立場から是非ご参加下さい。

**実施方法** オンライン開催(ウェビナー)  
申し込まれたメールアドレスへ事務局からURLをお送りします。

**基調講演** 「中小企業と地域支援機関の「共通価値の創造」に向けて」 講師/日本金融人材育成協会会長 森 俊彦氏

●森 俊彦氏プロフィール  
金融庁参事、東工中金アドバイザー、中小企業連中小企業店理事、1979年日本銀行入行、信用保証員事務長(パーセル銀行監査委員会-日本代表)、全沢支店長、金融機構調査部長、金融推進センター長などを歴任し、経済産業省「ローカルベンチマーク活用戦略会議」委員、内閣府「知財のビジネス価値評価検討タスクフォース」委員、金融庁「融資に関する検査・監督業務についての研究会」メンバー、環境省「ESG金融ハイレベルパネル」委員、金融庁「金融仲介の改善に向けた検討会議」メンバー、内閣府「価値デザイン創案ワーキンググループ」委員

**実践企業事例** 「大林製菓株式会社によるロカベン活用事例」

登壇者 同社 代表取締役 大林 学氏、一関商工会議所 経営支援課 菅原 恒氏、中小企業診断士 鯨井 文太郎氏  
大林製菓は創業90周年の「お慶喜さん」一関・平泉は、江戸時代伊達藩400年続く飲食文化のまらでもあり、餅の聖地。皆様に安心、安全でおいしいお餅をお届けするため原料となる糯米の作付けの選定から選水、蒸かしや製造工程にこだわったお餅づくりを行っている。

大林 学氏

**主催** 東北経済産業局  
**共催** 東北財務局  
**(予定)** 独立行政法人中小企業基盤整備機構 東北本部  
知的資産経営研究会 in Tohoku

**事務局** 〒980-0822 宮城県仙台市青葉区立町27-21 仙台構本ビルディング11F  
TEL: 022-224-1451 FAX: 022-265-5060  
Eメール: meti-survey@mail.tdb.co.jp ※株式会社帝国データバンク 仙台支店

### オンラインセミナー申込用紙

応募者多数の場合は先着順となります。予めご了承ください。  
2月10日(水)に開催されるオンラインセミナーに以下の通り、申し込みます。

フリガナ	〒
商号	住所
連絡先 mail 必須	参加者名
TEL	FAX

申込FAX番号 022-265-5060 申込Emailアドレス meti-survey@mail.tdb.co.jp  
※先着順のため、事務局より受付のご連絡をE-mailにてお送りいたします。お申込みの際は「連絡先mail」に必ずE-mailアドレスをご記入ください。

東北経済産業局  
「令和2年度知的資産経営等普及事業(ローカルベンチマーク活用促進に向けたコンテンツ作成)」

【開催日時】 2021年2月10日(水)

【主催】 東北経済産業局

【共催】 東北財務局 他

【内容】

第1部 基調講演

中小企業と地域支援機関の「共通価値の創造」に向けて

講師：金融庁 参与 森 俊彦 氏

第2部 実践事例紹介

「大林製菓株式会社によるロカベン活用事例」

講師：大林製菓株式会社 代表取締役 大林 学 氏

一関商工会議所 経営支援課 菅原 恒 氏

中小企業診断士 鯨井 文太郎 氏



【参加者】

151名(うち東北地域 76名)

※参加者内訳

企業 52名、金融機関 38名、支援機関 19名

士業・コンサル 29名、その他 13名